

# 思いやりで育む「暮らしやすい環境」

誰にとっても「暮らしやすい環境」は、人から環境への「思いやり」や、人と人のお互いに対する「思いやり」があってこそ成り立つものです。

日常生活の中で心がけることができる思いやりを見つけ、今日から始めてみませんか。

## 環境への「思いやり」

### ごみを、資源に変えよう

不要になったものは、捨ててしまえばただの「ごみ」です。しかし「資源」としてリサイクルすれば、さまざまな製品や原料に生まれ変わります。

本市は「資源ごみ拠点回収施設（平成31年4月開所）」で、古紙などさまざまな資源ごみを回収しています。市民のみなさんの協力により、令和2年度の回収量は前年度と比較して約3倍に増加。この1年で「ごみ」として焼却処分されていた多くの「資源」がリサイクルされ、みなさんの生活の中に還元されています。

みなさんの「思いやり」で、ごみが資源に変わります。

【資源ごみ回収量】



### 資源ごみ拠点回収施設(市清掃事務所敷地内)

【受付時間】 9時～16時

※毎週水曜・土曜が定休日。祝日も受け付けています。年始（1月1日～3日）は休みです。

### 回収量がひと目でわかる

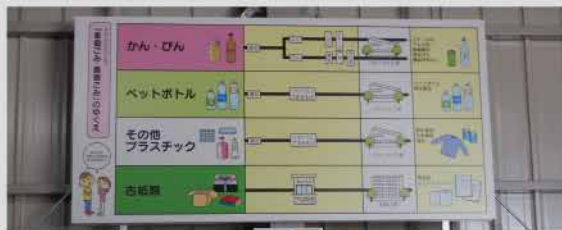
#### 資源ごみ拠点回収施設に看板を設置

利用者みなさんに、ごみの減量を実感してもらおうと、施設入口や施設内に看板を設置。資源ごみの回収量やリサイクルの過程を「見える化」しました。

| 項目         | 今年度<br>(3月末日時点) | 前年度<br>(年間) |
|------------|-----------------|-------------|
| 資源ごみ持ち込込件数 | 18813件          | 7625件       |

| 項目      | 今年度<br>(3月末日時点) | 前年度<br>(年間) |
|---------|-----------------|-------------|
| 資源ごみ回収量 | 136 t           | 44 t        |



## 周囲への「思いやり」

### 廃棄物を 野焼きしない

新型コロナウイルス感染症の対策として、窓を開けて換気を増やすことが増えてきました。一方で「野焼きの煙が臭い。換気をしたくてもできない」という相談が寄せられています。

野焼きは、煙・すす・悪臭などにより周辺住民に迷惑をかけるだけでなく、ダイオキシン類や塩化水素などの有害物質が発生する原因にもなります。廃棄物の野外焼却（野焼き）は、例外として認められている場合を除き、原則禁止されています。「少しだけなら」と思っても、絶対にやめましょう。

### 飼い主のいない猫へ 餌をあげない

お腹をすかせた猫を見るに見かねて餌を与える。このような行為が積み重なると地域に猫が集まってきて繁殖します。やがて排泄物のおいさや鳴き声に悩まされるようになります。さらに、ごみ袋が荒らされたり車が傷つけられたりするなど、さまざまな被害が増え、住みにくい環境となってしまいます。飼う意思のない猫に餌だけ与えるような行為は絶対にやめましょう。



### 犬を正しく飼う

犬を飼うときは、周囲の迷惑にならないように、ルールを守って正しく飼いましょう。

●散歩をするときは袋を持参し、糞は必ず持ち帰りましょう。放置すると悪臭を放つなど生活環境に悪影響を与えます。

●犬の放し飼いは福岡県の条例で禁止されています。散歩をするときは、首輪とリードで犬をつなぎましょう。

